

長岡市 見附市 栃尾市 中之島町

越路町 三島町 山古志村 小国町

長岡地域 任意合併協議会だより

第6号

発行：長岡地域任意合併協議会
編集：長岡地域任意合併協議会事務局



第6回任意合併協議会開催 合併の方式「長岡市に編入」 新市の名称「長岡市」に決定!

6月9日に長岡市の長岡グランドホテルで第6回長岡地域任意合併協議会(以下「協議会」といいます。)を開催しました。「地域自治について」は、市町村長の研究会を設置して地域自治を検討することが決まり、その後、「地域自治組織に具体的な何を任せるのか」などの地域自治の中身について活発な意見交換を行いました。

合併に関する基本的な事項では、継続協議の項目について協議を行い、合併の方式は「長岡市への編入合併」とすること、新市の名称は「長岡市」とすることに決定しました。議員の定数・任期の特例については、地域自治と関連があることや市町村議会でも連絡会を設け検討していることから、継続協議となりました。

また、協議会の期間については、当初7月までを目途に協議を進めてきましたが、新市将来構想の協議や地域自治の研究がこれから本格的に始まることから、協議会の回数を1、2回増やして9月ごろまで協議を続けていくこととしました。

第6号の掲載内容

- 第6回任意合併協議会の内容
- 議題 平成14年度決算について
- 議題 地域自治について
- 議題 「合併に関する基本的な事項」について
- 第4回新市将来構想策定小委員会
- 第5回新市将来構想策定小委員会
- 有識者ヒアリング調査の内容
- 地域アンケート調査の分析結果
- 協議会委員を紹介します

地域アンケート調査の分析結果

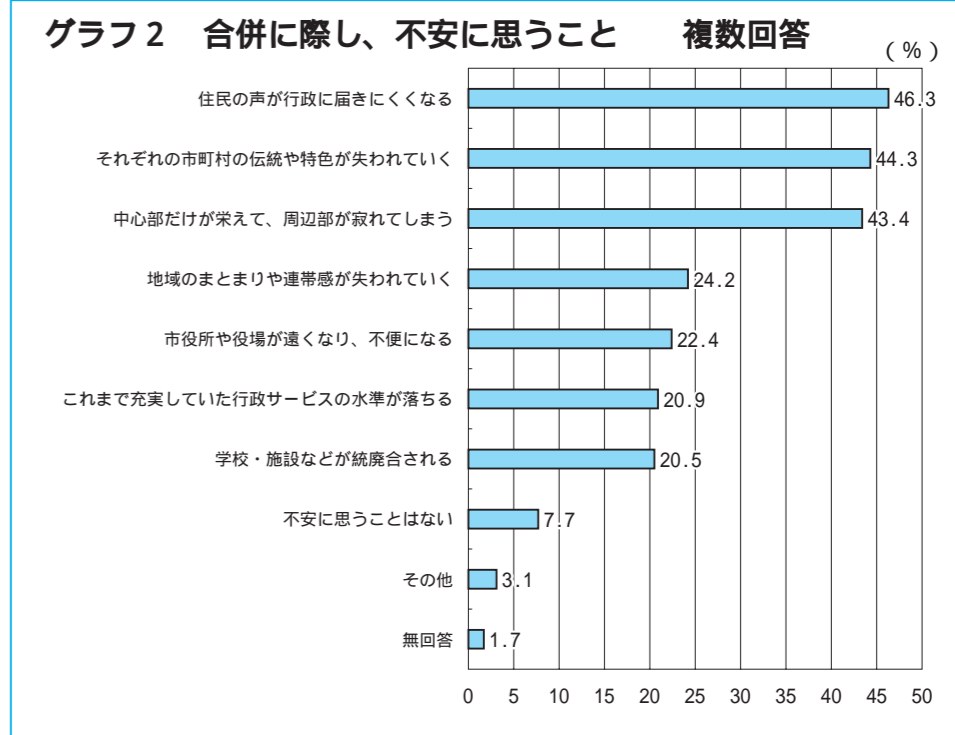
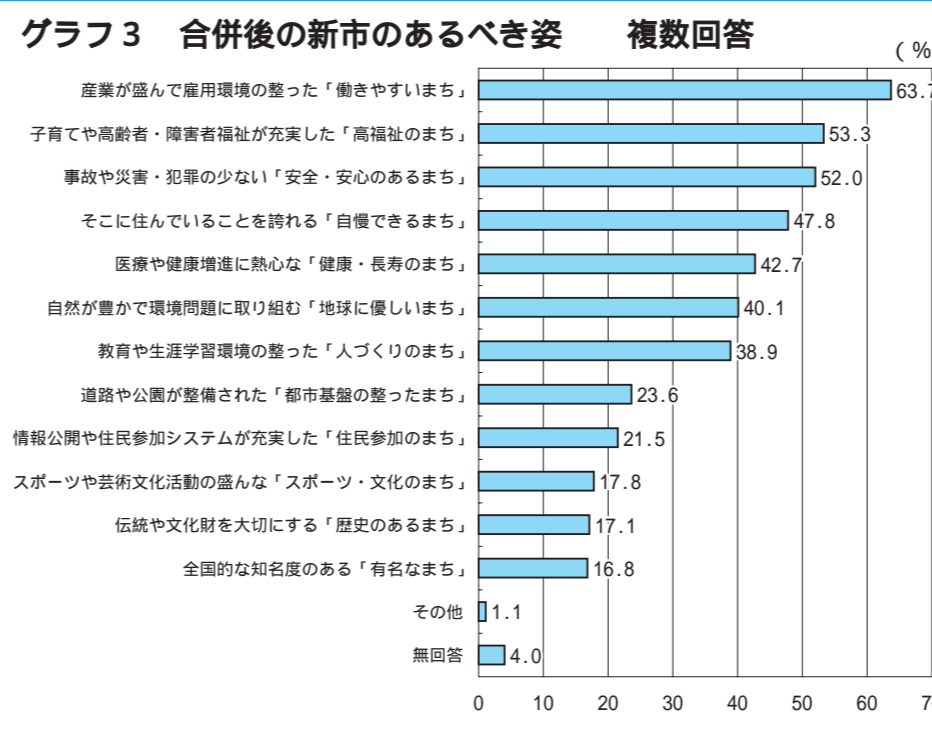
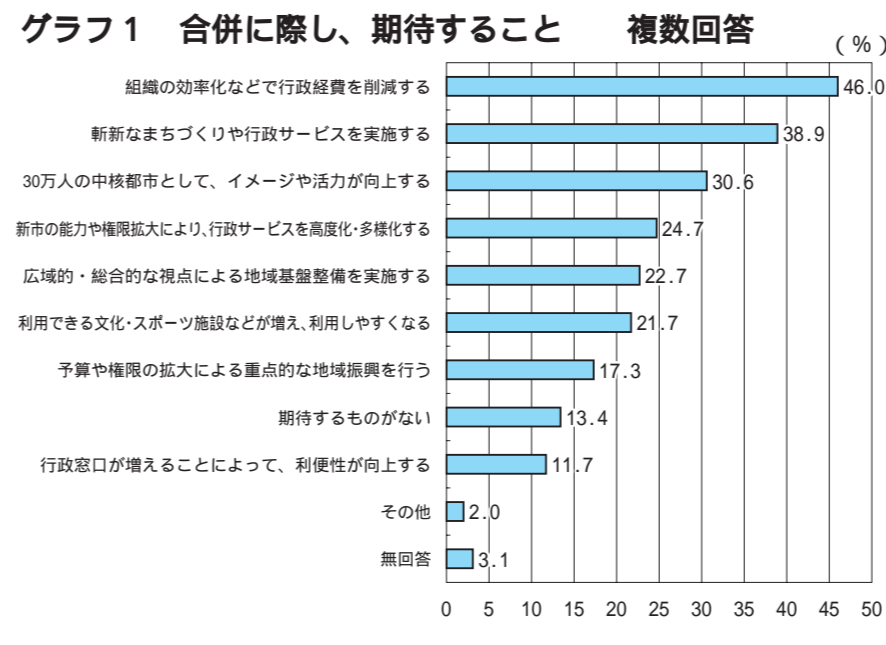
皆さんの方々からご協力いただいた「新市将来構想策定にかかる地域アンケート」の分析結果がまとまりましたので、いくつかお知らせします。

合併に際し期待することは「組織の効率化などで行政経費を削減する」「斬新なまちづくりや行政サービスを実施することであり、多くの方々がこれまでの手法にこだわらない改革を求めています。(グラフ1)

一方、不安に思うことは、「住民の声が行政に届きにくくなる」「それぞれの市町村の伝統や特色が失われていく」「中心部だけが栄えて、周辺部が寂れてしまう」といったことが多く、これらの不安を解消するためのきめ細かな対策が必要となります。(グラフ2)

また、「合併後の新市のあるべき姿」としては、「働きやすいまち」「高福祉のまち」「安全・安心のあるまち」を多くの方が望まれています。(グラフ3)

詳しい分析結果については協議会ホームページに掲載してありますし、構成市町村の合併担当窓口にも設置されていますのでご覧ください。



協議会委員を紹介します ⑥

前回に引き続き、議会代表(議長)の4名を紹介します。



山古志村議会代表
関 正史 さん
立地条件が大きく違う長岡地域の市町村合併です。お互いの立場を十分理解し、信頼関係をいかに築けるかがポイントであると思います。住民のための行政を忘れずに。



越路町議会代表
石坂 敏雄 さん
各市町村が抱える福祉、教育等の問題について、住民が理解できる方向を見出す必要があり、そのために地域自治組織の検討を進め不安解消のために努力いたします。



小国町議会代表
樋口 章一 さん
合併でどのような行政サービスの向上と都市の将来計画を示せるかということ、暫定的にせよ財政を含めた地域自治が保証される姿が望ましいと考えます。



三島町議会代表
野島 六司 さん
協議会も終盤に入りました。地域の特性を生かし、地方分権の担い手として自立、調和と統一のとれた活力ある中核都市を目指して、町の運命をかけて努力いたします。

長岡地域任意合併協議会事務局
長岡市幸町2-1-1 長岡市役所内
電話 39-22260・39-22277(直通)
FAX 39-22254
ホームページアドレス
<http://www.nagaoka-gappei.jp>
Eメールアドレス
office@nagaoka-gappei.jp

協議会・小委員会などの内容は、協議会のホームページに掲載しています。また、「ご意見・ご質問コーナー」も設けていますので、ぜひご利用ください。
ホームページアドレスはこちら

編集後記
汗がにじみ出る梅雨の季節になりました。事務室内の温度は梅雨の蒸し暑さにOA機器から発する熱などが加わりさらに暑くなっています。本格的な夏の到来が怖い今日この頃です。
さて、気がつけば任意合併協議会を設置して早くも半年が過ぎ、この協議会だよりも第6号を発行するまでになりました。なかなか編集技術が上達せず悩んでいますが、常に「長岡地域の皆さんにたくさんの合併情報を伝えたい」という気持ちで取り組んでいます。合併の方式、もようやく決まり協議会も終盤にさしかかりました。体調を崩さぬように、暑い夏を乗り切りたいものです。

協議会を傍聴しませんか?

第7回任意合併協議会

とき 7月18日(金) 午後3時から
ところ パストラル長岡
(長岡市今朝白2丁目)

受付 午後2時30分から
○傍聴について
傍聴席は会場の都合上50席程度です。原則として、どなたでも傍聴できますが、座席は先着順とし、満席の場合は入場をお断りすることがありますので、あらかじめご容赦ください。なお、事前予約は不要ですので、当日会場に直接お越しになってください。

第6回任意合併協議会の内容

第6回の協議会を6月9日に開催し、次の協議事項について協議しました。
報告事項
協議委員会等の変更

5月29日に栃尾市の外山康男助役が就任したことにより委員の変更がありました。外山委員は新市将来構想策定小委員会の委員と幹事会の幹事に就任します。このほか、目黒栃尾市企画財政課長も幹事に就任しました。

第4回新市将来構想策定小委員会
二澤小委員会副委員長から5月30日に行われた小委員会の内容について、報告がありました(3頁上段参照)。

議題 (詳しくは下記参照)
平成14年度決算について
地域自治について
「合併に関する基本的な事項」について

議題① 平成14年度決算について

平成14年度の協議会歳入歳出決算について、協議会で認定されました。会計監査は、中之島町佐々木助役と三島町米持助役が実施しました。

・歳入			
項目	金額	説明	
分担金及び負担金	16,544,945円	長岡市	9,627,945円
		見附市	2,325,000円
		栃尾市	1,408,000円
		中之島町	829,000円
		越路町	900,000円
		三島町	576,000円
		山古志村	314,000円
		小国町	565,000円
新潟県市町村合併 研究支援事業補助金			
県支出金	1,000,000円		
諸収入	13円		
合計	17,544,958円		
・歳出			
項目	金額	説明	
会議費	1,523,382円	協議会委員報償費など	
事業推進費	16,021,576円	協議会だより印刷費など	
うち需用費	(5,338,201円)	将来構想策定、電算化調査など	
うち委託料	(8,898,750円)		
合計	17,544,958円		

議題② 地域自治について

合併により周辺地域が寂れてしまつたのではといった各地域の不安を解消するための「地域自治のあり方」について、8市町村長による検討組織を設置して研究することを決定しました(翌日の6月10日付けで「地域自治研究会」を設置しました)。

その後、この研究会で議論する際の具体的な項目や論点について意見交換を行いました。その主な意見は次のとおりです。

- ・一定規模以下で地域に限定される事業は、原則その地域自治組織に予算をつけて執行できるようにしてはどうか。
- ・雪に関すること、特に除雪については地域に任せたい。また地域が整備する農道などにかかる経費も地域に任せてほしい。
- ・地域アンケートで出た不安事項が地域自治組織の

具体的な内容になるのではないかな。

特定の期間は緩やかな合併を望む。合併に対しての不安は各地域で異なっている。現在独自でやっている農業・教育・除雪などの事業については予算と執行権を持てるようにしてほしい。

- ・産業と観光が密接に関連しているため、地域自治の内容を検討する際は十分考慮してほしい。
- ・合併後10年間は交付税等の特例があるから、暫定的な移行措置として一定の財源を地域に与えて地域が必要とするものに使えるようにしてほしい。
- ・特色ある事業は合併してもなくしてはならないと思う。「コミュニティ活動を活性化していく方向で組織を検討してほしい」。
- ・イベントも地域自治組織で担えるように検討してほしい。
- ・残したい制度を一つ一つ議論してそれを積み上げてまとめたらどうか。単純に「地域自治をよこせ」では合併の駆け引きをしているようで寂しい。

議題③ 「合併に関する基本的な事項」について

「合併に関する基本的な事項」で継続協議となっていた項目について協議を行いました。

「合併の方式」では、「長岡市への編入やむなし」や「長岡市が中心であり長岡市への編入でよし」とする意見が多くありましたが、その前提として、「一定の地域自治を確保する」「独自の制度で良いものは各地域に残す」といった意見がありました。

協議の結果、下記のとおり決定しました。

- ・合併の方式
「長岡市への編入合併」とする。
- ・新市の名称
「長岡市」とする。
- ・議会の議員の定数及び任期の取扱い
継続協議(地域自治等と合わせて再度協議)

第4回新市将来構想策定小委員会

5月30日に開催した第4回新市将来構想策定小委員会の内容は次のとおりです。

- 各種調査結果報告
地域アンケート調査・まちづくりワークショップ
・有識者ヒアリングについて、調査結果の報告を行いました。
- 自治体ワークショップの実施
地域の特性・資源・素材を洗い出し、それらを整理したものから導かれる地域別整備方針とその方針の実現に向けた活動展開案を検討する組織として、8市町村の職員で構成する自治体ワークショップを実施することが決まりました。

3. デジタルマップの作成

将来の公共施設等の整備方針づくりの基礎資料や住民の皆様への説明資料などに役立てるため、8市町村に現存する施設等の情報に人口分布、移動距離・時間などを合わせ、見た目でわかりやすい地図情報(デジタルマップ)を作成することが決まりました。

4. 意見交換

8市町村が合併した場合の新市の将来イメージについて、各地域で守りたいもの、地域全体で伸ばしたいものなどの意見交換を行いました。なかでも、「長岡地域がオンリーワン・ナンバーワンになれるようなものを目指したい」などの意見があり、住民に対して説得力のある将来構想を示す必要性を改めて確認しました。



小委員会で熱心に発表するワークショップメンバー

第5回新市将来構想策定小委員会

6月11日に開催した第5回新市将来構想策定小委員会の内容は次のとおりです。

- 構成市町村長・議会代表ヒアリング調査結果報告
各市町村における「現状・課題・特性・資源」、今後の期待と懸念などについて、取材した結果を報告しました。
- ヒアリング調査結果の主な内容
・みんなに何らかの形で「太陽」があたるまちにしたい。
・優れた住環境を活かして定住人口・交流人口を増やす。
・めざせ！テーマごとの「日本一づくり」。
・地域資源を線で結びつけ観光ルートとして滞在型

2. 新市地域らしさ価値構築に向けての考察

整理した各種調査結果を分析し、今後伸ばしていきたいキーワードを基に検討しました。「人口増が地域の基盤」という意見が多くの委員から発言され、関連して「大学・企業の誘致・産業振興」「優れている住環境を生かした若者の定着と子育て日本」「滞在型・参加型観光振興や交流人口を増やすことによる地域活性化」など、将来実現すべき姿に次々と意見が出されました。これらのキーワードを整理して、新市地域らしさ価値を導き出していきます。

有識者ヒアリング調査の内容

新市の将来像構築の材料やまちづくりワークショップの検討資料とするために、「有識者ヒアリング」を行いました。有識者の皆さんからは地域全体を見て、「今の地域の現状や課題」「長岡地域が将来こうなつてほしい姿」などについてさまざまな意見をいただきました。その取材項目の「実現すべき事項」についてまとめたものを紹介します。

詳しい内容についてはホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

主な実現すべき事項(キーワード)

- ・ 独自性のあるデザインのまち
- ・ 環境重視の田園都市的發展
- ・ 産学共働の県中核都市
- ・ 住む人に優しく、来る人に優しいまち
- ・ 工業都市としての発展
- ・ 「高付加価値化による優位性」
- ・ 「知識・技術の集中による製品開発」
- ・ 大学も含めた産業人材の育成
- ・ 「創造性のある教育・体験・理解」
- ・ 各地域のソフト・ハードを集結した大きなパワー
- ・ 食をキーワードとする地域の活性化
- ・ 「食の安全宣言、食の再発見と交流化」
- ・ 「食文化・食産業の地域おこし」
- ・ 地域名を活かしたブランドの確立
- ・ さきいで豊かな水、便利で安全なまち、いきいき女性
- ・ 各地域の多様な自然と文化を尊重し、活用する観光産業開発
- ・ 滞在型リゾートによる交流人口の拡大
- ・ 官民のバランスと住民自治の尊重
- ・ 「行政と住民の役割分担の明確化」
- ・ 「住民自身が価値観やものさしを持つ」
- ・ 地域らしさ、地域の良さを生かした活性化

調査に協力いただいた有識者

区分	出身市町村	名前	経歴など	計
長岡地域出身者	長岡市	石積 忠夫さん	リードエグジビジョンジャパン(株)社長(展示会主催会社)	4人
	長岡市	西澤 輝泰さん	新潟大学教授(総合情報処理センター長、経済学部長)	
	山古志村	田中 トシオさん	理・美容師1992ヘアワールド世界チャンピオン	
	小国町	林家 こん平さん	落語家 真打(笑点などで活躍)	
地域在住者	長岡市	浅野 ゆう子さん	地域デザイン研究所、新潟NPO協会事務局長	11人
	長岡市	内山 弘さん	長岡歯車資料館館長、長岡郷土史研究会会長	
	長岡市	高田 裕司さん	(株)山崎組社長、長岡商工会議所常議員(建設部会長)	
	見附市	三本 由喜枝さん	見附商工会女性部長、チャレンジshopV代表	
	栃尾市	廣野 光春さん	広野茶店、谷内一商栄会(商店街活性化に取り組む)	
	栃尾市	目黒 日出吉さん	(有)スマイ(燃業)	
	中之島町	小林 光栄さん	中之島町教育委員長、元中之島町議会議員	
	越路町	半藤 禅一さん	新潟県農業技術学院講師、越路町人権擁護委員	
	三島町	大島 誠さん	(有)大島鉄工所社長、三島町消防団副団長	
	山古志村	五十嵐 與吉さん	(株)大久保土建会長、山古志村商工会長	
	小国町	中村 満さん	小国町商工会副会長、「もちひとまつり」実行委員長	

小委員会を傍聴しませんか?

第7回新市将来構想策定小委員会

とき 7月15日(火) 午後6時30分から
ところ 長岡市役所 大会議室 (長岡市幸町2丁目)
受付 午後6時から

○傍聴について
傍聴席は会場の都合上30席程度です。原則として、どなたでも傍聴できますが、座席は先着順とし、満席の場合は入場をお断りすることがありますので、あらかじめご容赦ください。なお、事前予約は不要ですので、当日会場に直接お越しになってください。

第6回新市将来構想策定小委員会は、6月25日(水)に開催しました。協議結果については、次号でお知らせします。

「合併に関する基本的な事項」19項目の協議状況

分類	項目名	協議結果等
1. 基本項目	合併の方式	・「長岡市への編入合併」とする。
	合併の期日	・平成17年3月末までを目途とする。
	新市の名称	・「長岡市」とする。
2. 法による特例項目	新市の事務所の位置	・長岡市内とする。
	議会の議員の定数及び任期の取扱い	(継続協議)
	農業委員会の委員の定数及び任期の取扱い	(継続協議)
	地方税の取扱い	・合併後に統一する。(5年間で均一課税を行う)
3. その他	⑩一般職の職員の身分の取扱い	・全て新市に引き継ぐ。
	⑪地域審議会の取扱い	(継続協議)
	財産の取扱い	・全て新市に引き継ぐ。
	特別職の身分の取扱い	・市長、助役、収入役、教育長を置く。(その他の特別職の設置は、合併関係市町村の長が別に協議する。)
	⑫組織機構及び支所の取扱い	・旧市町村の庁舎を本庁又は支所として存続する。・組織機構の再編を段階的、計画的に実施する。
	⑬条例・規則等の取扱い	・各協議項目の調整方針に基づき統一を図り、新市の事務事業に支障がないように整備する。
	⑭一部事務組合等の取扱い	・合併の枠組み確定後、一部事務組合と協議。(全て解散・脱退する方向。住民生活への影響、事務事業の効率性等を考慮して調整する。)
	⑮使用料・手数料等の取扱い	・使用料は原則現行どおり。(同一又は類似する施設は経過措置により段階的に調整する。) ・手数料は合併時に統一するように努める。
	⑯公共的団体等の取扱い	・各団体のこれまでの経緯、各団体の意向・実情等を十分に尊重しながら、法の趣旨に沿って統合するよう調整に努める。
	⑰町名・字名の取扱い	・各市町村や地域と調整を行い重複町名等が生じないように調整する。
	⑱各種団体への補助金・交付金の取扱い	・事業目的、効果を総合的に勘案し、公共の必要性、有効性、公平性及び地域特性の観点から、新市で調整する。
	⑲慣行の取扱い	・各市町村の地域特性を十分尊重しながら調整を行う。

から⑲は協議項目として番号付けされたものです。協議会では、種類別に分類して「1.基本項目」の項目から順に協議しました。

左の表は、「合併に関する基本的な事項」の19項目の協議状況を表したものです。